

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和2年10月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）、騒音・低周波空気振動】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9
3. 騒音・低周波空気振動	II - 10

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和2年10月（大気質、水質、騒音・低周波空気振動）の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	10月1日～31日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	10月26日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

表-1(3) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 騒音・低周波空気振動）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波空気振動音圧レベル	1点(大阪南港野鳥園)	10月20日～21日	2回/年 (4月、10月)

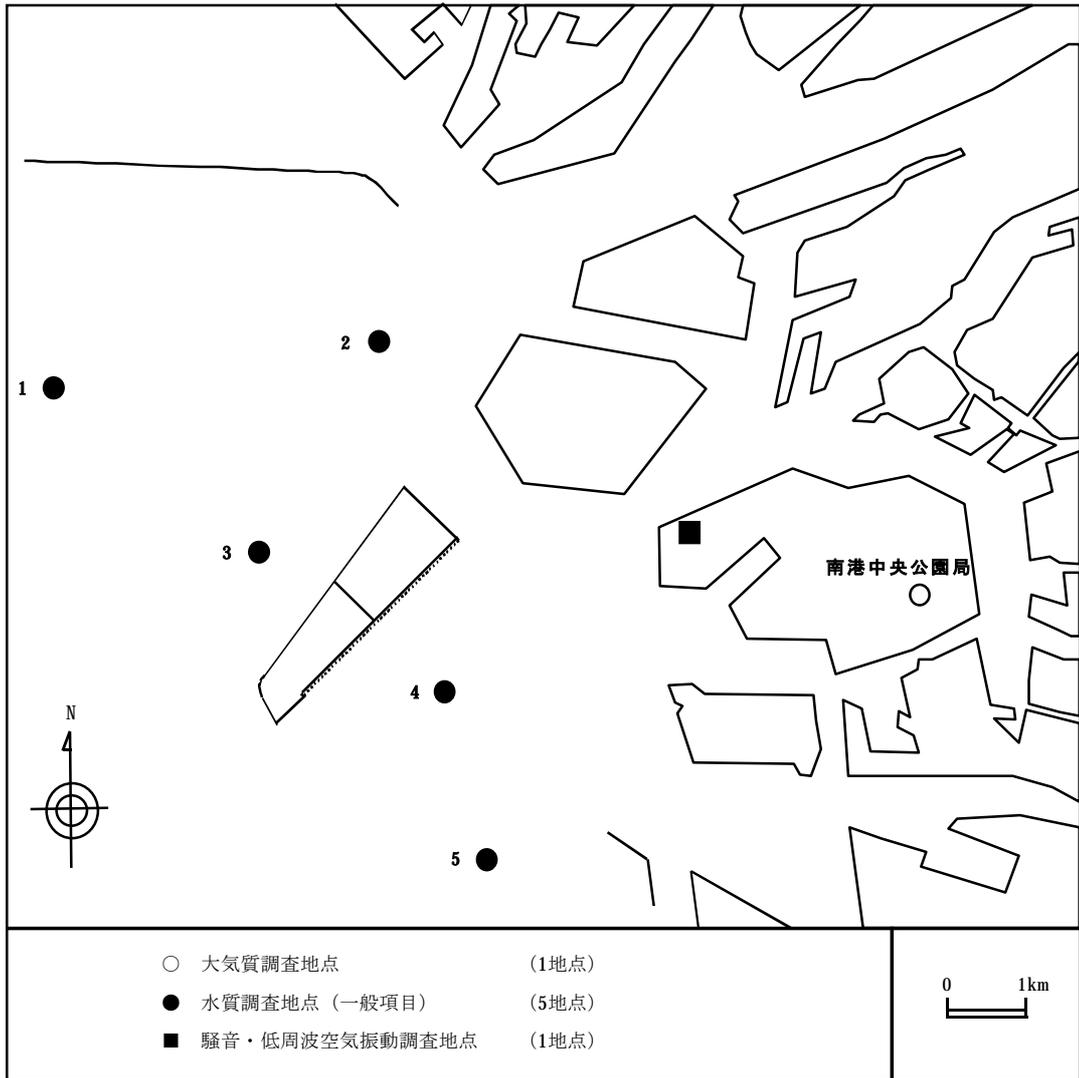
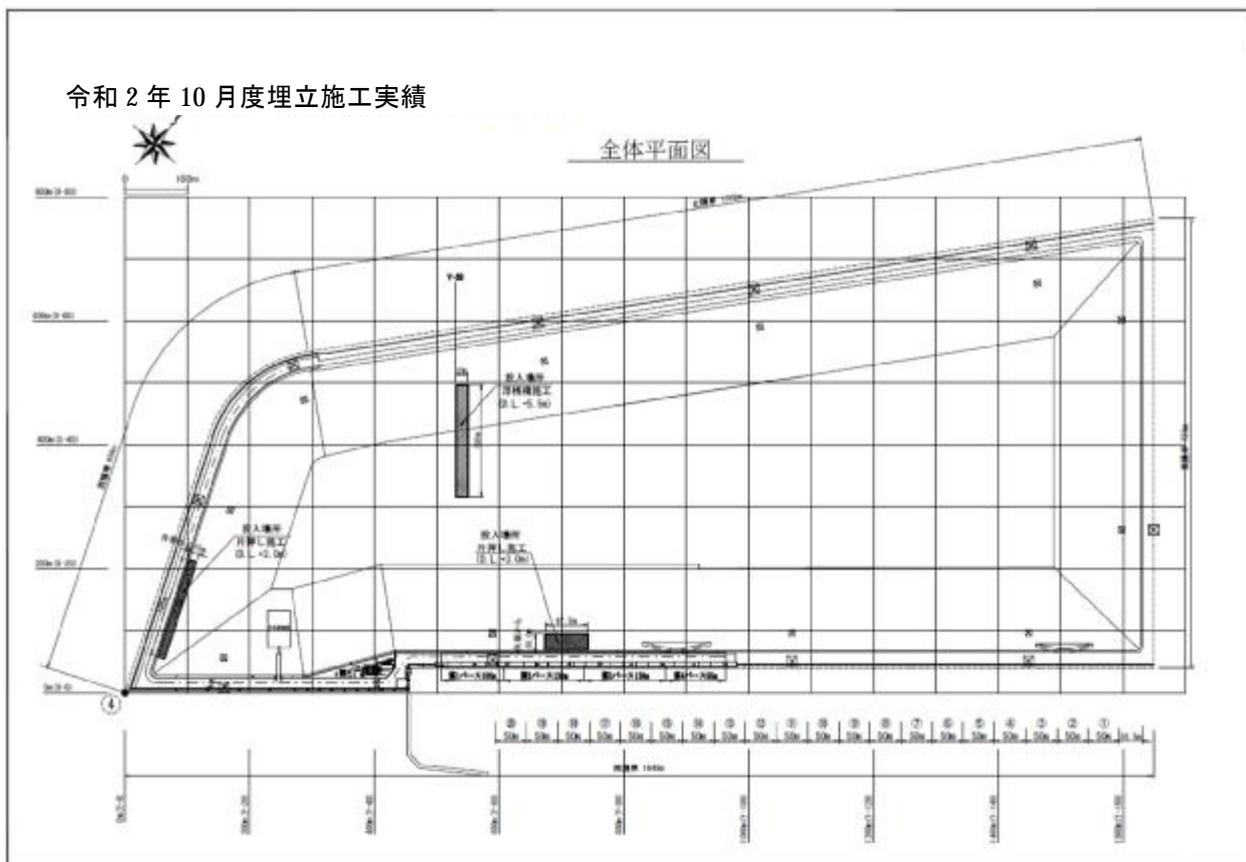


図-1 大気質・水質(一般項目)、騒音・低周波空気振動の調査地点

2. 工事の実施状況

令和2年10月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
5,757,418	41.2

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.005ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.006ppm、1時間値の最高値は 0.008ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.020ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.037ppm であり、環境基準値の範囲内であった。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.012mg/m³であった。また、日平均値の最高値は 0.022mg/m³、1時間値の最高値は 0.037mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

- 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】
水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.0～8.1、下層は 8.0 であり、全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。
- 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】
化学的酸素要求量 (COD) は上層で 2.1～3.1mg/L、下層で 1.2～1.4mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。
環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 4 (3.1mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 1.6～4.9mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。
- 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】
溶存酸素量 (DO) は上層で 7.4～9.0mg/L、下層で 4.1～5.8mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では一部の調査地点において環境基準値を下回っていた。
環境基準値を下回っていた調査結果は、下層の調査地点 4 (4.1mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は下層で 0.6～11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.36～0.96mg/L、下層で 0.19～0.24mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.69mg/L)、調査地点 2 (0.79mg/L)、調査地点 4 (0.96mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46～2.1mg/L であり、この範囲内にあるため本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.044～0.096mg/L、下層で 0.036～0.044mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.066mg/L)、調査地点 2 (0.079mg/L)、調査地点 4 (0.096mg/L)、調査地点 5 (0.065mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021～0.15mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1～5 度(カリン)、下層で 1 度(カリン)であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 2～3mg/L、下層で 1～2mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 5.6～11 μ g/L、下層で 0.8～3.6 μ g/L の範囲であった。

(3) 騒音・低周波空気振動 [騒音・振動様式第 1～4 号]

1) 騒音【環境基準値：昼間 60 デシベル以下、夜間 50 デシベル以下】

騒音レベル (L_{Aeq}) は、昼間 (午前 6 時～午後 10 時) は平均値 47 デシベル、夜間 (午後 10 時～午前 6 時) は平均値 49 デシベルであり、昼間・夜間ともに環境基準値以下であった。

2) 低周波空気振動

低周波空気振動の音圧レベル (L_{50}) は、作業時間帯 (午前 9 時～午後 6 時) において平均値 70 デシベルであり、環境影響評価時の予測値 (73 デシベル) を下回る値であった。図-3 に低周波空気振動の音圧レベルの時間推移を示す。

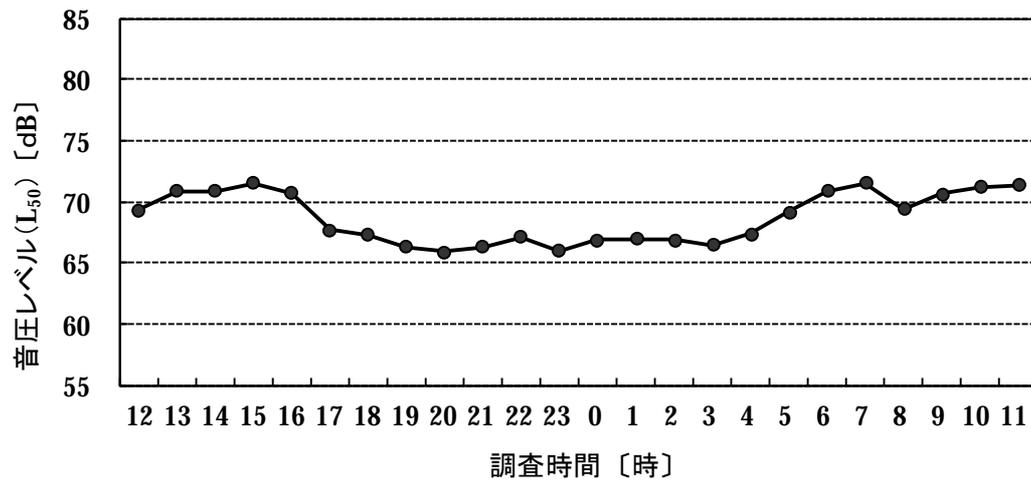


図-3 低周波空気振動の音圧レベル(L₅₀)の時間推移

《 参考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

(2) 水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全燐 (T-P)	0.05mg/L 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が **75%**以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「**75%**水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ **0.75×n** 番目（**n** は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって **75%水質値**（**0.75×n** 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち **75%**以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音（道路に面する地域以外の地域）

地域の 類型	基準値	
	昼間	夜間
C	60 デジベル以下	50 デジベル以下

注) 1. 時間の区分は以下のとおりである。

昼間：午前 6 時～午後 10 時 夜間：午後 10 時～午前 6 時

2. 騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項 目	区 分	事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点 1～5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。

2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。

3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表 [令和2年10月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	737
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	29
	日平均値が0.10ng/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.20ng/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [令和2年10月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (木)	0.006	0.015
	2 (金)	0.007	0.025
	3 (土)	0.006	0.017
	4 (日)	0.004	0.006
	5 (月)	0.005	0.009
	6 (火)	0.007	0.031
	7 (水)	0.006	0.012
	8 (木)	0.006	0.009
	9 (金)	0.006	0.018
	10 (土)	0.004	0.006
別	11 (日)	0.004	0.006
	12 (月)	0.009	0.044
	13 (火)	0.005	0.006
	14 (水)	0.008	0.038
	15 (木)	0.005	0.007
	16 (金)	0.005	0.010
	17 (土)	0.005	0.008
	18 (日)	0.005	0.010
	19 (月)	0.020	0.081
	20 (火)	0.020	0.072
値	21 (水)	0.013	0.073
	22 (木)	0.008	0.016
	23 (金)	0.006	0.021
	24 (土)	0.004	0.007
	25 (日)	0.004	0.005
	26 (月)	0.011	0.058
	27 (火)	0.011	0.046
	28 (水)	0.014	0.045
	29 (木)	0.011	0.049
	30 (金)	0.004	0.011
	31 (土)	0.004	0.017
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.007	
日平均値の最高値 (ppm)		0.020	
1時間値の最高値 (ppm)		0.081	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [令和2年10月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (木)	0.017	0.037
	2 (金)	0.022	0.034
	3 (土)	0.025	0.040
	4 (日)	0.014	0.026
	5 (月)	0.015	0.027
	6 (火)	0.018	0.038
	7 (水)	0.020	0.032
	8 (木)	0.022	0.040
	9 (金)	0.016	0.043
	10 (土)	0.008	0.019
別	11 (日)	0.010	0.021
	12 (月)	0.022	0.038
	13 (火)	0.017	0.027
	14 (水)	0.021	0.031
	15 (木)	0.016	0.023
	16 (金)	0.017	0.032
	17 (土)	0.020	0.032
	18 (日)	0.017	0.028
	19 (月)	0.032	0.043
	20 (火)	0.025	0.038
値	21 (水)	0.021	0.039
	22 (木)	0.026	0.039
	23 (金)	0.020	0.032
	24 (土)	0.008	0.022
	25 (日)	0.010	0.021
	26 (月)	0.030	0.043
	27 (火)	0.031	0.038
	28 (水)	0.037	0.056
	29 (木)	0.025	0.048
	30 (金)	0.019	0.037
	31 (土)	0.021	0.031
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.020	
日平均値の最高値 (ppm)		0.037	
1時間値の最高値 (ppm)		0.056	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和2年10月分]

測定局		南港中央公園			
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)	
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		
日	1 (木)	0.023	75.4	0.051	
	2 (金)	0.029	75.2	0.059	
	3 (土)	0.032	79.8	0.057	
	4 (日)	0.018	77.4	0.030	
	5 (月)	0.020	73.6	0.036	
	別	6 (火)	0.025	73.1	0.069
		7 (水)	0.026	77.5	0.044
		8 (木)	0.027	79.8	0.049
		9 (金)	0.022	74.1	0.061
		10 (土)	0.013	65.9	0.025
		11 (日)	0.014	70.0	0.027
		12 (月)	0.031	69.8	0.074
		13 (火)	0.022	78.2	0.032
		14 (水)	0.029	73.6	0.069
		15 (木)	0.021	77.4	0.028
値	16 (金)	0.022	76.6	0.041	
	17 (土)	0.024	80.8	0.040	
	18 (日)	0.023	75.8	0.038	
	19 (月)	0.052	62.3	0.121	
	20 (火)	0.045	55.6	0.100	
	21 (水)	0.034	61.4	0.112	
	22 (木)	0.033	76.6	0.055	
	23 (金)	0.026	75.9	0.052	
	24 (土)	0.012	63.3	0.027	
	25 (日)	0.014	71.3	0.025	
	26 (月)	0.042	72.4	0.097	
	27 (火)	0.043	73.5	0.083	
	28 (水)	0.051	73.1	0.090	
	29 (木)	0.036	70.4	0.092	
	30 (金)	0.023	83.9	0.048	
	31 (土)	0.025	83.6	0.046	
有効測定日数 (日)		31			
測定時間 (時間)		740			
月平均値 (ppm)		0.028			
日平均値の最高値 (ppm)		0.052			
1時間値の最高値 (ppm)		0.121			
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		72.8			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO₂ / (NO+NO₂) =

(NO 及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO 及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和2年10月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)
日	1 (木)	0.009	0.013
	2 (金)	0.012	0.016
	3 (土)	0.017	0.026
	4 (日)	0.018	0.023
	5 (月)	0.015	0.029
	6 (火)	0.009	0.013
	7 (水)	0.010	0.016
	8 (木)	0.006	0.008
	9 (金)	0.004	0.007
	10 (土)	0.005	0.013
別	11 (日)	0.010	0.015
	12 (月)	0.012	0.016
	13 (火)	0.011	0.016
	14 (水)	0.014	0.027
	15 (木)	0.009	0.012
	16 (金)	0.008	0.010
	17 (土)	0.007	0.010
	18 (日)	0.011	0.018
	19 (月)	0.015	0.031
	20 (火)	0.018	0.032
値	21 (水)	0.015	0.020
	22 (木)	0.012	0.017
	23 (金)	0.011	0.019
	24 (土)	0.010	0.018
	25 (日)	0.011	0.017
	26 (月)	(0.017)	(0.020)
	27 (火)	(0.010)	(0.013)
	28 (水)	0.017	0.027
	29 (木)	0.022	0.037
	30 (金)	0.010	0.016
	31 (土)	0.013	0.022
有効測定日数 (日)		29	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (mg/m ³)		0.012	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.022	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.037	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

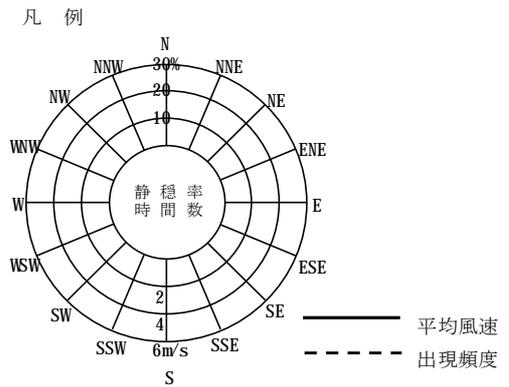
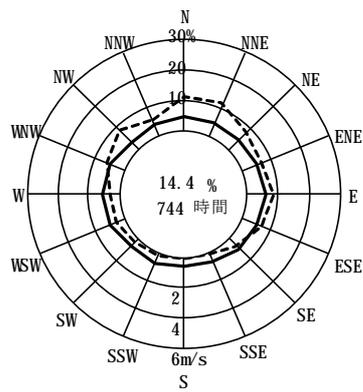
2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和2年10月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WWW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	85	59	48	61	50	24	3	3	10	12	23	24	46	65	42	82	107	744
頻度 (%)	11.4	7.9	6.5	8.2	6.7	3.2	0.4	0.4	1.3	1.6	3.1	3.2	6.2	8.7	5.6	11.0	14.4	-
平均風速 (m/s)	1.0	0.9	1.0	1.2	1.0	0.9	0.6	0.6	0.7	0.7	1.0	1.1	1.0	0.7	0.8	1.0	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和2年10月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[令和2年10月分]

調査日：令和2年10月26日

項目	調査点		1	2	3	4	5	最小値 ~ 最大値	平均値
	時刻	時刻							
時刻	10:20	10:45	10:00	9:35	9:05	-		-	
透明度 [m]	2.8	2.0	4.1	1.9	2.3	1.9 ~ 4.1		2.6	
水温 [°C]	21.0	21.4	21.2	20.0	19.9	19.9 ~ 21.4		20.7	
	21.9	21.8	21.8	22.2	22.2	21.8 ~ 22.2		22.0	
塩分 [-]	24.7	21.6	29.7	21.7	27.4	21.6 ~ 29.7		25.0	
	31.9	31.7	31.9	32.0	32.1	31.7 ~ 32.1		31.9	
濁度 [度(カサ)]	3	3	1	5	2	1 ~ 5		3	
	1	1	1	1	1	1 ~ 1		1	
浮遊物質量 (SS) [mg/L]	2	2	2	3	2	2 ~ 3		2	
	1	1	1	2	1	1 ~ 2		1	
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.1	8.0	8.1	8.1	8.1	8.0 ~ 8.1		-	
	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0 ~ 8.0		-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	2.7	2.7	2.1	3.1	2.4	2.1 ~ 3.1		2.6	
	1.4	1.4	1.3	1.2	1.3	1.2 ~ 1.4		1.3	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	8.0	7.4	7.7	9.0	8.5	7.4 ~ 9.0		8.1
		5.8	5.7	5.6	4.1	5.2	4.1 ~ 5.8		5.3
	飽和度 [%]	104	95	103	113	110	95 ~ 113		105
		80	78	77	57	72	57 ~ 80		73
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.69	0.79	0.36	0.96	0.56	0.36 ~ 0.96		0.67	
	0.19	0.22	0.21	0.24	0.20	0.19 ~ 0.24		0.21	
全磷 (T-P) [mg/L]	0.066	0.079	0.044	0.096	0.065	0.044 ~ 0.096		0.070	
	0.036	0.039	0.039	0.044	0.039	0.036 ~ 0.044		0.039	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	11	6.8	5.6	10	5.8	5.6 ~ 11		7.8	
	1.2	3.6	2.4	0.8	0.8	0.8 ~ 3.6		1.8	

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

騒音・振動様式第1号（埋立地関連）

環境騒音調査結果総括表[令和2年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：令和2年10月20日午後0時～10月21日午後0時

時間 区分	騒音レベル (デシベル)												主音源
	L _{A5}			L _{A50}			L _{A95}			L _{Aeq}			
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
昼間	50	46	53	46	43	49	44	41	47	47	44	50	車両、虫
夜間	51	50	52	49	48	50	47	45	48	49	49	50	虫、車両

注：1. L_{A5}、L_{A50}、L_{A95}の平均値は算術平均値、L_{Aeq}の平均値はパワー平均値である。

2. 時間区分は、昼間は午前6時から午後10時、夜間は午後10時から午前6時までの間とする。

環境騒音調査結果総括表[令和2年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：令和2年10月20日～21日

調査時間	時間の区分	地域の類型	環境基準値	騒音レベル（デシベル）				主音源
				L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	
12:00	昼間	C	60dB	47	43	41	44	車両、虫、船舶
13:00				46	43	42	44	車両、虫、船舶
14:00				50	44	42	47	車両、虫
15:00				50	46	43	47	車両、虫、船舶
16:00				51	48	46	48	車両、虫、船舶
17:00				49	46	44	47	車両、虫
18:00				50	47	46	48	車両、虫
19:00				48	46	45	47	車両、虫
20:00				49	47	45	47	虫、車両
21:00				53	48	46	49	虫、車両、船舶
22:00	夜間	C	50dB	50	49	47	49	虫、車両
23:00				51	49	47	49	虫、車両、船舶
00:00				50	48	47	49	虫、車両
01:00				51	49	47	50	虫、車両
02:00				51	48	46	49	虫、車両
03:00				52	48	45	49	虫、車両
04:00				52	50	47	50	虫、車両
05:00				52	50	48	50	虫、車両
06:00	昼間	C	60dB	52	49	47	50	虫、車両
07:00				50	47	46	48	車両、虫
08:00				50	47	45	48	虫、車両、船舶
09:00				49	46	44	46	車両、虫
10:00				50	46	44	47	車両、虫
11:00				51	47	43	48	車両、虫
最小値				46	43	41	44	
最大値				53	50	48	50	
平均値				50	47	45	48	

注：1. L_{A5}、L_{A50}、L_{A95}の平均値は算術平均値、L_{Aeq}の平均値はパワー平均値である。
 2. 環境基準はL_{Aeq}である。

低周波空気振動調査結果総括表[令和2年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：令和2年10月20日午後0時～10月21日午後0時

音圧レベル（デシベル）												風速（m/s）	
L ₅			L ₅₀			L ₉₅			L _{max}			最小	最大
平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大		
75	74	77	70	68	72	67	63	68	83	80	85	0.1	0.9

注：1. 平均値は算術平均値である。

2. 作業時間帯（午前9時から午後6時までの間）の結果を表している。

低周波空気振動調査結果総括表[令和2年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日：令和2年10月20日～21日

調査時間	音圧レベル (デシベル)				風速 (m/s)	
	L ₅	L ₅₀	L ₉₅	L _{max}	最小	最大
12:00	74	69	66	80	0.2	0.7
13:00	75	71	68	82	0.3	0.8
14:00	76	71	68	83	0.2	0.8
15:00	76	72	68	85	0.1	0.4
16:00	76	71	67	85	0.4	0.6
17:00	74	68	63	82	0.2	0.6
18:00	76	67	63	84	0.3	0.8
19:00	72	66	63	80	0.2	0.7
20:00	70	66	63	80	0.2	0.4
21:00	71	66	63	79	0.1	0.2
22:00	74	67	63	79	0.2	0.3
23:00	74	66	61	79	0.2	0.4
0:00	72	67	62	81	0.2	0.7
1:00	72	67	62	76	0.4	0.6
2:00	71	67	63	76	0.3	0.5
3:00	71	67	63	76	0.2	0.5
4:00	72	67	64	76	0.3	0.6
5:00	75	69	66	82	0.1	0.2
6:00	77	71	67	83	0.1	0.2
7:00	76	72	68	83	0.2	0.2
8:00	74	69	66	81	0.5	0.8
9:00	75	71	67	83	0.6	0.8
10:00	76	71	68	84	0.4	0.9
11:00	77	71	68	85	0.5	0.7
最小値	70	66	61	76	0.1	0.2
最大値	77	72	68	85	0.6	0.9
平均値	74	69	65	81	0.3	0.6